

※この科目では対面授業が適宜実施されます。詳細は担当教員にご確認ください。

授業科目名： **事業計画演習（佐々木・村上）** 【2021 秋学期開講分】

科目区分： 演習（発展）

必修・選択の別： 必修

配当年次： 2 年次

単位数： 4 単位（学習期間 2 学期）

担当教員： 佐々木 一人

副担当教員： 村上 半治郎

オフィスアワー（授業相談の受付）：

e ラーニングサイトおよびメールでの質疑応答を受け付けています。

（メールアドレスは大学院グループウェアのアドレス帳でご確認ください）

1. 授業の概要

受講生が実際に起業を行うもしくは所属する企業において新規事業の発案を行うことを想定し、実社会にて通用する事業計画書を作成する。またその作業を通じて、アントレプレナーシップにおける様々なスキルを身に着ける。（※営利非営利は問わない。）計画の実施に必要な収支計画・資金調達計画なども設計を行い、中間および最終報告会において、教員および学外専門家からの評価・指導を頂く。

2. 学習目標

当大学院 MBA コースの集大成として、他の各授業で習得した知識や方法論も用いながら、事業計画を立案できるようにすること。またその事業の実現性について、精査・検証・強化をしていけるようになること。

3. 当ゼミの特色

・本学マーケティング科目の担当教員としての位置づけのみならず、放送系無線技術者としての業務経験をバックグラウンドに、30 年以上の情報通信・メディア・社会インフラ・環境エネルギー・医療ヘルスケアの各産業や、技術経営（MOT）等での幅広い調査研究活動やコンサルティング活動、私企業のみならず公企業の経営戦略や事業戦略の立案、また、各種事業計画策定の経験や知見、ノウハウを活かした戦略的な事業計画演習を志向するゼミです。

・副担当教員の村上先生は、金融機関および事業会社において、新規事業の立案のほか、M&A や PMI などの経験を有し、事業計画の策定はもとより、事業成否の鍵となる資金調達などの知見も有しています。

・身近な社会問題の解決から社会的な課題の達成をテーマとしつつ、事業主体として上場やその後の成長にも耐えられるような規模感・スケールを伴う各事業や産業の創出を共に考えて参ります。

4. 求める受講者

テーマ・領域等について、特に限定はしませんが、①自身の経験・環境に即した社会問題の解決に意欲・興味がある人、②先端技術の積極的な活用による、イノベーションを実践していきたい人、③国際的なビジネス展開を志向、実践したいと思う人。④社会的課題に挑戦し、その達成を目指す人。

5. 授業計画

オリエンテーション、事業アイデアの発表（ディスカッション）

解決課題の明確化、事業ビジョン、ミッションステートメント（ディスカッション）

ビジネスモデル、バリュープロポジション（ディスカッション）

各自ディスカッション及びテーマ設定

※この科目では対面授業が適宜実施されます。詳細は担当教員にご確認ください。

中間報告

課題の洗い出し及びフィードバック

資金調達戦略、組織設計

事業計画書策定、プレゼンテーション資料作成

最終報告

6. 受講上の留意点

当ゼミで提示されるスケジュールに沿ってご受講ください（基本的に毎月1回対面授業を予定しています）。

※中間報告を行わなかった場合、授業の後半課程に進むことはできません。翌学期に改めて中間報告を行って頂きます。

（1学期留年することになります）

※以下のような場合には教員の判断の下、中間・最終の各報告会への参加を許可しない場合があります。

- ・最低限の形式基準を満たさない
 - ・教員の指導や助言を受けての改善がみられない
 - ・直前での無許可のテーマ変更
- 等

7. 成績評価基準

平常点（40%）＋中間報告（10%）＋最終報告（50%）

最終報告の評価項目は以下のとおり

- | | | |
|---|---------------|-----|
| 1 | ビジョン／理念／志 | 10% |
| 2 | ビジネスモデル・収益性 | 10% |
| 3 | 市場性・スケーラビリティ | 10% |
| 4 | 競争優位性 | 10% |
| 5 | 裏づけ調査による根拠 | 10% |
| 6 | 必須要素の網羅と完成レベル | 50% |

※この科目は、以下の資料を期日厳守で提出頂くことが必須となります。

- ・プレゼン資料（Power point）
- ・事業計画書（Word）
- ・Before & After 表

8. 必読書籍・参考書籍

授業内容とスケジュールに合わせて、教員から適時提示します。

9. その他

「事業計画演習」は年間で4単位となるため、【春・秋】もしくは【秋・春】の履修登録の際には、それぞれ2単位（1科目）として扱います。後半学期の履修登録の際には、既に2単位を登録済み（履修中）と考えますので、履修できる単位数は11単位までとなります。